








# アプリケーションとデータ管理

## プログラムについて

E30HTには次のようなプログラムがインストールされています。

## スタートメニューのプログラム

















アイコン	説明
	<b>メール</b> : 電子メールの送受信ができます。
	<b>自局番号</b> : au ICカードに登録されている電話番号(自局電話番号)を表示して確認できます。
	<b>電話</b> : 電話の発着信、通話の切り替えなどができます。
	<b>予定表</b> : カレンダーにスケジュールを登録します。
	<b>連絡先</b> : 友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。
	<b>グローバル機能</b> : E30HTを使用するエリアやPRL(ローミングエリア情報)を設定します。
	<b>ヘルプ</b> <sup>*</sup> : Windows Mobileに標準搭載されている各機能と、E30HTにプリインストールされている各種アプリケーションに関するヘルプを表示します。

\*一部のヘルプ項目には、E30HTで利用できない以下のような機能に言及している箇所があります。ご了承ください。

- ・赤外線通信
- ・音楽の一部を着信音に設定する機能
- ・一部の電話関連機能(代替電話回線/帯域の設定/固定ダイヤル/自動ダイヤル/放送チャネル/FAX/TTY/インターネット電話)

## プログラム画面

アイコン	説明
	<b>Office Mobile</b> : モバイル向けのMicrosoft Officeアプリケーションです。
	<b>Excel Mobile</b> : Microsoft Excelワークブックの新規作成、表示、編集ができます。
	<b>OneNote Mobile</b> : Microsoft OneNoteファイルを新規作成、表示、編集できます。
	<b>PowerPoint Mobile</b> : Microsoft PowerPointのスライドやプレゼンテーションを表示できます。
	<b>Word Mobile</b> : Microsoft Wordドキュメントを新規作成、表示、編集できます。
	<b>ゲーム</b> : Bubble Breaker、Teeter、ソリティアの3種類のゲームがあります。
	<b>ActiveSync</b> : E30HTとパソコンまたは Exchange Serverの間で情報の同期ができます。
	<b>Adobe Reader LE</b> : PDFファイルを開覧することができます。
	<b>Internet Explorer</b> : Webサイトを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。
	<b>JBlend</b> : 業務用アプリケーションなどをインストールして利用できます。
	<b>Messenger</b> : モバイル版のWindows Live Messengerを利用できます。
	<b>NAVITIME</b> : 目的地までの経路を検索することができます。
	<b>Opera Browser</b> : モバイル版のOperaブラウザを利用できます。
	<b>Scan and Fax</b> : カメラをFAXやスキャナとして利用できます。

アイコン	説明
	<b>WalkingHotSpot:</b> E3OHTをワイヤレスLANのルータとして利用できます。
	<b>Windows Live:</b> MicrosoftのWindows Liveサービス(メール、メッセージャー、スペース、サーチ)を利用できます。
	<b>Windows Media:</b> ビデオやオーディオファイルを再生します。
	<b>Zip:</b> ファイルを通常のZIP形式に圧縮します。メモリを節約したり、メモリスペースを空けることができます。
	<b>アルバム:</b> 写真やビデオを表示します。
	<b>インターネット共有:</b> E3OHTからのインターネット接続を、他のパソコンなどから利用します。
	<b>お使いになる前に:</b> E3OHTの基本的な機能や設定の概要を確認できます。
	<b>カメラ:</b> 写真を撮影したり、音声付きビデオを撮影したりできます。
	<b>ファイル エクスプローラー:</b> E3OHTのファイルを整理し、管理します。
	<b>ボイス短縮ダイヤル:</b> 音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行したりするために、音声(ボイスタグ)を録音して登録します。
	<b>メモ:</b> 手書きのメモ、文字入力、ボイスメモの作成ができます。
	<b>リモート デスクトップ モバイル:</b> リモート デスクトップの表示や動作に関する設定を行います。
	<b>画像とビデオ:</b> E3OHTやmicroSDメモ리카ードに保存されている写真、アニメーション GIF、ビデオファイルなどを表示および管理します。
	<b>検索:</b> E3OHTに保存されている連絡先、データ、その他の情報を検索します。
	<b>仕事:</b> 仕事の進捗などを管理できます。
	<b>電卓:</b> 加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。

## Microsoft Office Mobile

Office Mobileでは、以下の4つのアプリケーションを使用して、Microsoft文書を作成、編集、閲覧することができます。

- **Word Mobile** は Microsoft Word の簡易バージョンです。パソコンで作成したWordドキュメントをE3OHTで開き、編集することができます。また、Word Mobileでドキュメントやテンプレートを新規作成し、doc、rtf、txt、dotファイルを保存することができます。
- **Excel Mobile** を使うと、パソコンで作成した Excel ワークブックやテンプレートを開いたり、編集したりすることができます。また、E3OHTで新しいワークブックやテンプレートを作成することもできます。
- **PowerPoint Mobile** では、パソコンで作成したpptおよびpps形式のスライドショープレゼンテーションを実行することができます。(作成、編集は行えません。)
- **OneNote Mobile** では、パソコンで作成したOneNoteファイルを開いたり、OneNoteファイルを新規に作成することができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。

### ■ Office Mobileアプリケーションを起動する

[スタート]→[プログラム]→[Office Mobile]をタップし、起動するOffice Mobileアプリケーションを選択します。

- ◎ ファイルの保存形式は、Wordはdocx、Excellはxlsxに設定されています。パソコンでこれらのファイルを開くには、Office 2007以降のバージョンのWordやExcel、またはコンバーターが必要です。
- ◎ Wordの保存形式をdocxに変更するには、[メニュー]→[オプション]をタップし、[既定のテンプレート]から[Word 97-2003文書]を選択します。
- ◎ Excelの保存形式をxlsに変更するには、すべてのExcel文書を閉じた状態で[メニュー]→[オプション]をタップし、[新しいブックのテンプレート]から[空白の97-2003ブック]を選択します。
- ◎ Word Mobile はMicrosoft Wordのすべての機能に対応しているわけではありません。変更履歴やパスワード保護などはご利用になれません。ドキュメントをE30HTで保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Word Mobileで対応している機能を確認するには、E30HTのヘルプをご参照ください。
- ◎ Excel Mobileは関数やセルコメントなど、一部の機能に対応していません。ワークブックをE30HTで保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Excel Mobileで対応している機能を確認するには、E30HTのヘルプをご参照ください。
- ◎ OneNote Mobileは、パソコン用Microsoft OneNoteとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

## Adobe Reader LEを使う

Adobe Reader LEを使うと、PDF ファイルを表示することができます。

### ■ Adobe Reader LEを起動する / ファイルを開く

#### 1 [スタート]→[プログラム]→[Adobe Reader LE]をタップ

最近開いたファイル一覧が表示されます。





初めてAdobe Reader LEを起動したときは、マイデバイス配下のフォルダやファイルが一覧表示されます。

#### 2 ファイルをタップ

- 最近開いたファイル一覧にファイルが表示されない場合は、[参照]をタップしてマイデバイスからファイルを選択してください。

### ■ PDFファイル进行操作する

PDF ファイルでは次のような操作ができます。

- 縦または横のスクロールバーにある上、下、左、右の矢印キーをタップし、ページを自由にスクロールさせることができます。
- ナビゲーションコントロールの上、下、左、右ボタンを押すと、ページを上下に移動したり、ページ内をスクロールしたりできます。
- 前ページに移動するには  を、次ページに移動するには  をタップします。また、先頭ページにジャンプするには  を、最終ページに移動するには  をタップします。
- [ツール]→[移動]をタップすると、特定のページへ直接移動することができます。

### ■ PDFファイルで文字を検索する

#### 1 PDFファイルを開く

#### 2 [ツール]→[検索]→[文字列]をタップ

### 3 検索する文字を入力

### 4 大文字・小文字を区別する、単語全体、後方検索など、検索条件を選択→[検索]をタップ

### ■ Adobe Reader LE を終了する

[メニュー]→[終了]をタップします。



- ◎ Adobe Reader LEではブックマークを含むPDFファイルのためにブックマークウィンドウが表示されます。ブックマークをタップすると、ファイル内の特定部分やページにジャンプすることができます。
- ◎ Adobe Reader LEは最大128ビット暗号までのパスワード保護されたPDFに対応しています。パスワードにより保護されたPDFファイルを開くと、まずパスワードを入力するよう要求されます。

## ファイルをコピー/管理する

E30HTとパソコン間でファイルをコピーしたり、microSDメモリーカードにファイルをコピーすることができます。また、ファイルエクスプローラーを使用すると、ファイルやフォルダを効率的に管理できます。

## Windows Mobileデバイスセンター/ ActiveSyncを使用する

Windows MobileデバイスセンターまたはActiveSyncを使うと、パソコンからE30HTへ、またはその逆にファイルをコピーすることができます。

### ■ E30HTとパソコンの間でファイルをコピーする

#### 1 E30HTをパソコンに接続

#### 2 パソコンのWindows Mobileデバイスセンターで[ファイル管理]→[デバイスのコンテンツの参照]をクリック、またはActiveSyncで[エクスプローラ]をクリック→E30HTの「モバイルデバイス」フォルダを開く

#### 3 E30HTからパソコンにファイルをコピー

- 「モバイルデバイス」フォルダでコピーしたいファイルに移動します。
- ファイルを右クリックし、[コピー]をクリックします。
- パソコンでコピー先のフォルダを選択します。フォルダを右クリックし、[貼り付け]をクリックします。

#### 4 パソコンからE30HTにファイルをコピー

- パソコンでコピーしたいファイルが含まれるフォルダまで移動します。
- ファイルを右クリックし、[コピー]をクリックします。
- 「モバイルデバイス」で保存先のフォルダを右クリックし、[貼り付け]をタップします。

コピーしたファイルは同期されていないため、E30HTとパソコンのファイルとは異なった状態になります。変更内容を更新するために、E30HTとパソコンとでファイルを同期してください。

## ファイル エクスプローラー

ファイル エクスプローラーによりE30HTのフォルダの内容を確認できます。E30HTのルートフォルダは「マイ デバイス」となり、パソコンの「マイ コンピュータ」と同様に「My Documents」、「Program Files」、「Temp」、「Storage Card」および「Windows」フォルダなどを含んでいます。

### ■ ファイル エクスプローラーを使用する

- 1 [スタート]→[プログラム]→[ファイル エクスプローラー]をタップ
- 2 開きたいフォルダ/ファイルをタップ
- 3 上の階層に戻るには、下矢印(▼)をタップしてフォルダを選択
- 4 ファイルの削除、名前の変更、コピーなどをすばやく行うには、ファイルをタップしたまま→ポップアップメニューから項目を選択  
ファイルをドラッグすると、複数のファイルを選択できます。

### ■ microSDメモリカードにファイルをコピーする

- 1 E30HTにmicroSDメモリカードが正しく挿入されていることを確認
- 2 [スタート]→[プログラム]→[ファイル エクスプローラー]をタップ
- 3 目的のフォルダへ移動→コピーするファイルをタップしたまま→[コピー]をタップ
- 4 下矢印(▼)をタップ→[Storage Card]をタップ

### 5 [メニュー]→[編集]→[貼り付け]をタップ


### ■ microSDメモリカードに自動的に保存する

Word Mobileやメモ帳などのプログラムで、すべての新規作成ドキュメント、メモ、ワークブックなどのファイルをすべてmicroSDメモリカードに保存するよう設定しておくくと便利です。

- 1 プログラムファイルの一覧から [メニュー]→[オプション]または [メニュー]→[ツール]→[オプション]をタップ
- 2 [保存先]で[Storage Card]をタップ
- 3 [ok]をタップ



memo

◎ファイルまたはメモの一覧では、microSDメモリカードに保存されたファイルの隣に  記号が表示されます。

## ZIPを使う

ファイルを ZIP形式に圧縮することでE30HTのメモリ容量を増やすことができます。さまざまなソースから受信したアーカイブファイルを表示したり、展開したりすることができます。また、E30HTで新しいZIP ファイルを作成することもできます。

## ZIPを起動し、ZIPファイルを開く

ZIPを使ってE30HTのファイルをアーカイブしたり、または既存のアーカイブファイルを開いたりすることができます。E30HTでZIPを起動するたびにzipの拡張子を持つファイルを検索し、アーカイブ一覧画面に表示します。

### ■ E30HTで ZIP を起動する

#### 1 [スタート]→[プログラム]→[Zip]をタップ

### ■ ZIPファイルを開き、ファイルを展開する

#### 1 次のいずれかの方法でファイルを開く

- ファイルをナビゲーションコントロールで選択し[ファイル]→[アーカイブを開く]をタップします。
  - ファイルをタップしたままにし、[アーカイブを開く]をタップします。
  - ファイルをタップします。
- ZIPファイルに含まれるファイルが表示されます。

#### 2 以下のいずれかの方法でファイルを選択

- ファイルをタップして選択します。
- 複数のファイルを選択するには、[メニュー]→[アクション]をタップし、[マルチ選択モード]が選択されていることを確認します。各ファイルをタップして選択します(選択したファイルを再度タップすると、選択を解除します)。
- すべてのファイルを選択するには、[メニュー]→[アクション]→[すべて選択]をタップします。

#### 3 [メニュー]→[アクション]→[解凍] をタップ

#### 4 ファイルを展開するフォルダを選択→[解凍]をタップ



memo

◎ 複数のZIP ファイルを同時に選択することはできません。

### ■ ZIP アーカイブを作成する

#### 1 [新規作成]、または[ファイル]→[新規アーカイブ]をタップ

#### 2 ZIPファイルの名前を指定→保存先フォルダを選択→ZIPファイルをE30HTのメインメモリに保存するか、microSDメモリカードに保存するかを選択

#### 3 [保存] をタップ

#### 4 [メニュー]→[アクション]→[追加]をタップ

#### 5 アーカイブするファイルを含むフォルダをダブルタップ

#### 6 以下のいずれかの方法でファイルを選択

- ファイルをタップして選択します。
- 複数のファイルを選択するには、画面でタップしたままにして、ポップアップメニューから[マルチ選択モード] を選択し、対象のファイルをタップします(選択したファイルを再度タップすると、選択を解除します)。
- すべてのファイルを選択するには、画面でタップしたままにし、[すべて選択]をタップします。

#### 7 [追加]をタップ

#### 8 [メニュー]→[ファイル]→[アーカイブを閉じる]をタップ

#### 9 ZIPファイルを閉じた後、[検索] をタップ

すべてのZIPファイルを検索してアーカイブ一覧画面に表示します。

## ボイス短縮ダイヤルを使う

音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行したりするため、ボイスタグを録音しておくことができます。

### 電話番号のボイスタグを作成する

#### 1 [スタート]→[連絡先]をタップ

連絡先一覧が表示されます。

#### 2 次のいずれかの方法でボイスタグを作成

- 連絡先をタップしたままにし、[ボイスタグの追加]をタップします。
- ナビゲーションコントロールで連絡先を選択し、[メニュー]→[ボイスタグの追加]をタップします。
- 連絡先をタップして詳細画面を表示し、[メニュー]→[ボイスタグの追加]をタップします。

#### 3 ボイスタグを作成する電話番号を選択→録音ボタン(●)をタップ→任意のボイスタグを録音

録音を終えると、ボイスタグアイコン(🗣️)がアイテムの右側に表示されます。



録音ボタンを押して録音を始めます。

アイテムに対してボイスタグを作成すると、次の操作を行うことができます。

- 録音ボタン(●)をタップしてボイスタグを再設定できます。
- 再生ボタン(▶)をタップしてボイスタグを再生できます。
- 削除ボタン(✕)をタップしてボイスタグを削除できます。



◎ 音声認識の精度を上げるため、静かな場所で録音を行ってください。

### プログラムのボイスタグを作成する

#### 1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ボイス短縮ダイヤル]をタップ

#### 2 [アプリケーション]タブをタップ

#### 3 ボイスタグを作成するプログラムを選択→録音ボタン(●)をタップ→任意のボイスタグを録音

### ボイスタグを使った音声発信やプログラム起動

#### 1 ボイス短縮ダイヤルが起動するまで通話ボタンを長押しする

#### 2 発信音の後、電話番号/プログラムに割り当てたボイスタグを発声

システムがボイスタグを再生し、該当する番号に発信/該当するプログラムを起動します。

## memo

- ◎ボイスタグがうまく認識されない場合は、ボイスタグが認識されやすいようにはっきり発音したり、周囲の雑音が少なくなるよう工夫して、もう一度録音してください。

## ■ 作成したボイスタグの表示と動作確認

### 1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ボイス短縮ダイヤル]をタップ

[ボイスタグ]タブに、作成したすべてのボイスタグの一覧が表示されます。

一覧からアイテムを選択し、次の操作を行うことができます。

- ・録音ボタン(●)をタップしてボイスタグを再設定できます。
- ・再生ボタン(▶)をタップしてボイスタグを再生できます。
- ・削除ボタン(✕)をタップしてボイスタグを削除できます。

## NAVITIME

NAVITIMEは目的地への最適な経路を検索し、出発から到着までをナビゲーションしてくれるサービスです。

## 会員登録する

- ・会員登録は月額課金契約への登録となります。地図検索や乗換検索などの一部機能は、会員登録をしなくてもご利用になれます。

### 1 [スタート]→[プログラム]→[NAVITIME]をタップ

- ・初めてNAVITIMEを起動した場合は、通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。[はい(次回以降も同様)]をタップすると、次回から確認画面は表示されなくなります。

- ### 2 [登録/インフォメーション]→[会員登録/解除]をタップ
- 会員登録/解除画面が表示されます。  
以降は、画面の指示に従って操作してください。

## NAVITIMEを利用する

NAVITIMEは目的地までの経路検索や現在地、周辺などの地図検索、乗換え案内など、さまざまな情報を検索することができます。

- ・NAVITIMEの詳細については、NAVITIMEのヘルプをご参照ください。

### 1 [スタート]→[プログラム]→[NAVITIME]をタップ

#### 2 情報を検索

カテゴリを選択し、目的のメニューをタップします。

カテゴリを選択すると、画面右下に概要が表示されます。



- ・GPSの状態を確認する場合は、[GPSチェック]をタップします。
- ・操作中にNAVITIMEのトップメニュー画面に戻る場合は、[トップメニューへ]をタップします。



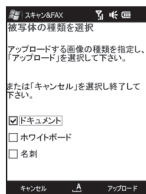
## Scan and Fax / スキャンR

スキャンRの機能を利用して、カメラで撮影した文書や名刺、ホワイトボードの会議内容などをアップロードし、オンラインでFAXの送信やファイルの保存/共有を行うことができます。

### 写真データをアップロードする

- 1 [スタート]→[プログラム]→[カメラ]をタップ→写真を撮影
- 2 メールアイコン(✉)をタップ→[FAXで送信/スキャナで読取]→[送信]をタップ
- 3 [ドキュメント]、[ホワイトボード]、または[名刺]から撮影した写真の種別を選択→[アップロード]をタップ

撮影した写真がアップロードされます。  
初回ご利用時は、アップロード後、スキャンR登録を画面の指示に従って操作してください。



### アップロードした写真データを確認する

- 1 [スタート]→[プログラム]→[Scan and Fax]をタップ
- 2 確認したい写真データをタップ  
写真データが拡大表示されます。
  - 他の人と写真データを共有する場合は、[共有する]をタップします。
  - 指定した番号へFAX送信する場合は、[FAXを送る]をタップします。
  - 写真データをテキスト形式に変更する場合は、[テキスト形式]をタップします。
  - 写真データを削除する場合は、[削除]をタップします。

## WalkingHotSpot

E30HTを無線LANホットスポットとして使用し、Wi-Fi対応のパソコンなどからインターネット接続を利用できます。

- 1 [スタート]→[プログラム]→[WalkingHotSpot]をタップ

- 2 [起動]をタップ

ホットスポット機能がオンになり、画面のWi-Fiアクセスポイント名の横に「オン」が表示されます。



- 3 パソコンなどのWi-Fi機能を使って、E30HTに接続する
- 4 接続許可を確認するメッセージが表示された場合は、[許可]をタップ

### クライアントからの接続について

クライアント(パソコンなど)の設定画面では、接続先情報として、WalkingHotSpot画面に表示されているWi-Fiアクセスポイント名が表示されます。(SSID)また、オプション設定でパスワード(WEPキー)を設定している場合は、クライアント側でWEPキーの設定が必要になります。

接続方法の詳細は、お使いになるパソコンなどの取扱説明書をご参照ください。

※WalkingHotSpotはアドホックモードでWi-Fi通信を行います。アドホック通信でのインターネット接続に対応していない機器をクライアントとして使用することはできません。

## WalkingHotSpotを終了する

WalkingHotSpot画面の[停止]をタップするとホットスポット機能が停止し、すべてのクライアントからのWi-Fi接続が切断されます。

WalkingHotSpotアプリケーション自体を終了するには、[オプション]→[終了 WalkingHotSpot]をタップしてください。



- ◎ WalkingHotSpotでホットスポット機能をオンにしている間は、バッテリーの消費が大きくなります。ホットスポット機能を使用しないときは機能を停止するか、WalkingHotSpotを終了しておくことをおすすめします。
- ◎ [オプション]→[非表示]をタップすると、WalkingHotSpotの画面を閉じることができます。再度表示するには、Today画面右下のWをタップします。

## WalkingHotSpotのオプション設定

WalkingHotSpotの[オプション]→[設定]から、以下のような設定を行います。

### ■ 電源

バッテリー消費を節約するための電源設定を行います。

**非アクティブ状態設定:**ホットスポット機能実行中にクライアントからの接続(通信)が一定時間途絶えた場合に、自動的にホットスポット機能を停止するように設定します。また、停止するときにメッセージ表示するかどうか(**ポップアップ**)や、接続タイムアウトするまでの時間(**タイムアウト**)を設定できます。

**バッテリー残量が少なくなったら停止:**E30HTのバッテリー残量が30%よりも少なくなったときに、自動的にホットスポット機能を停止するように設定します。

### ■ クライアント

クライアント(パソコンなど)との接続に関する設定を行います。

**クライアント自動接続:**ホットスポット機能実行中に、クライアントから自由に接続できるように設定します。初期値はオフになっています。

**クライアント情報:**現在E30HTに接続しているクライアントの情報を一覧表示します(MACアドレスやIPアドレスなど)。一覧からクライアントを選択して接続を切断したり(一時**ブロック**)、そのクライアントからの接続を常にブロックするように設定したり(**ブロック**)できます。

**ブロックされたユーザー:**ブロック設定されているクライアント情報を一覧表示します。

### ■ ネットワーク

Wi-Fiアクセスポイント名(SSID)やWEPセキュリティ機能を設定します。

**WANアクセス ポイント:**E30HTが接続する先のネットワーク情報です。通常は設定変更できません。

**WiFiアクセス ポイント:**クライアント(パソコンなど)から見えるアクセスポイント名(SSID)を変更します。WalkingHotSpotのトップ画面に表示されます。初期値では、whsXXXXXXXXに設定されています。(XXXXXXXXは端末ごとに設定される7桁の数値)

**パスワード(WEP キー):**クライアントとの通信を暗号化するためのWEPキーを、5文字または13文字の半角英数記号で設定します。ここでWEPキーを設定した場合は、クライアント側でも同じWEPキーを入力する必要があります。

### ■ ユーザー インターフェイス スキン

WalkingHotSpotの画面表示(配色)を変更します。

## リモート デスクトップ モバイル

ネットワーク内のパソコンをE30HTで操作することができます。

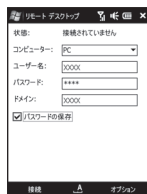
- ・あらかじめコンピュータ名、ユーザー名、パスワード、ドメインを確認しておく必要があります。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

### リモート デスクトップでパソコンを操作する

#### 1 [スタート]→[プログラム]→[リモート デスクトップ モバイル]をタップ

#### 2 各項目を入力→[接続]をタップ

E30HTとパソコンが接続され、E30HTのタッチスクリーンにパソコンの画面が表示されます。



- ・全画面で表示する場合は、[全画面表示]をタップします。
- ・パソコンの操作を終了する場合は、[切断]をタップします。

## リモート デスクトップのオプション設定

リモート デスクトップの表示や動作に関する設定を行います。

#### 1 [スタート]→[プログラム]→[リモート デスクトップ モバイル]をタップ

#### 2 [オプション]をタップ

#### 3 以下の項目を設定

- ・表示: デスクトップの画面の色や全画面表示するかどうか、画面に合わせて表示サイズを調整するかどうかを設定します。
- ・リソース: デバイスの保存スペースをパソコンにマップするかどうか、リモート デスクトップの操作音をどのデバイスから出力するかを設定します。

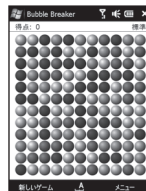
#### 4 [ok]をタップ

## その他の機能

### Bubble Breaker

となり合っている同色のバブル(シャボン玉)を消していくゲームです。一度に多くの同色バブルを消すと、高い得点になります。

#### 1 [スタート]→[プログラム]→[ゲーム]→[Bubble Breaker]をタップ



## 2 消すバブルをタップ

消せるバブルが線で囲まれ、得られる得点が表示されます。

## 3 もう一度タップ

バブルが消え、得点が加算されます。

同様の操作を繰り返し、消せるバブルがなくなると終了です。

- ・新しくゲームを始める場合は、[新しいゲーム]をタップします。

## Teeter

E30HTを傾けてボールを転がし、ゴールの穴へボールを落とすゲームです。

### 1 [スタート]→[プログラム]→[ゲーム]→[Teeter]をタップ

前回途中で終了した場合は、再開するかリスタートするかの確認画面が表示されます。

### 2 E30HTを傾けてゴールの穴(緑色)にボールを落とす



途中の黒い穴にボールが落ちると、やり直しとなります。

ボールをゴールの穴(緑色)に落とすとクリアとなり、クリアするまでにかかった時間や回数などが表示されます。

ゲーム終了の場合は、タッチスクリーンをタップして[はい]を選択します。

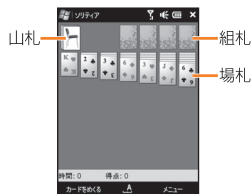
## ソリティア

山札と場札のカードすべてを使い切って、組札に積み重ねるゲームです。ルールは以下の通りです。

- ・組札には1からKまでの同じ種類のカードを、小さい順に積み重ねることができます。
- ・場札には、大きい順に赤・黒のカードを交互に積み重ねることができます。
- ・すべてのカードを組札に積み重ねることができたら、ゲームクリアです。
- ・移動できるカードがなくなるとゲームオーバーです。

### 1 [スタート]→[プログラム]→[ゲーム]→[ソリティア]をタップ

### 2 タップしてカードをめくる



### 3 山札/場札のカードを移動先にドラッグ

同様の操作を繰り返します。

- ・新しくゲームを始める場合は、[メニュー]→[新しいゲーム]をタップします。